

わが町のあの日を振り返る  
**OKINAWA  
 BACK  
 TO THE 19XX**  
 沖縄バック・トゥ・ザ・19XX

美しい夕景を望む  
 沖縄を代表する景勝地

記憶に残るシーンや印象的な出来事などを  
 古い写真とともに振り返ります。

沖繩本島のほぼ中央の西海岸に位置する恩納村。村の西側は東シナ海に面し、東側は山々が連なり、さらには小さな川も40近くある変化に富んだ豊かな自然を有しています。

県内屈指のビーチリゾートである恩納村の観光地といえば万座毛が有名です。18世紀、琉球国王・尚敬が「万人が座するに足る毛(野原)」として称賛したことがその名前の由来だと言われています。多くの人が訪れる、夕日が美しい景勝地ですが、沖縄戦の後にはアメリカ広報庁V・O・A受信施設が設置、1977年に返還された歴史もありました。

そんな万座毛に、2020年10月、万座毛周辺活性化施設がオープン。万座毛や恩納村の魅力に触れられる場所として注目されています。



恩納村  
 万座毛

1960年代

写真右側の白い建物は、V.O.A受信施設(ヴォイス・オブ・アメリカ)。周辺には無数のアンテナが立っていた。(写真提供: 恩納村博物館)



わが町の魅力を伝える

「恩納村文化情報センター」

「恩納村に図書館を!」という村民の長年の希望が叶い、2015年に開館。図書館機能に加え、観光情報提供機能も備えることで、村の基幹産業である観光に特化した複合施設になっています。施設1階の観光情報フロアでは村内および沖繩本島北部の観光情報を案内、2階の図書館フロアは、美しい海を眺められるリゾート地ならではの風景を楽しめるほか、県外の観光客も本を借りることができる嬉しいシステムも。また、村内のリゾートホテルにミニライブラリーを設置するなど、宿泊施設とも連携しています。このような取り組みが評価され、2019年には先進的な図書館活動を行う機関に贈られるライブラリー・オブ・ザ・イヤーの優秀賞を受賞しました。



恩納村文化情報センター <http://www.onna-culture.jp>



2020年

「万座毛周辺活性化施設」がオープンした現在の万座毛周辺。(写真提供: 恩納村)



はたちの献血キャンペーン

献血バス運行スケジュール▶

